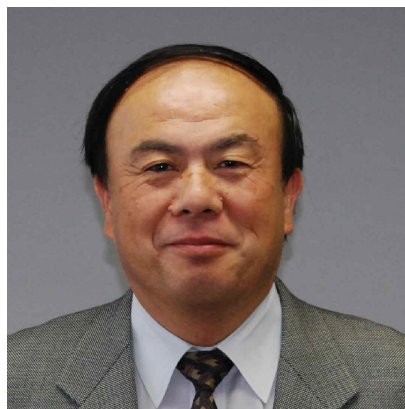


白糠町では給食費の完全無償化となるのに

釧路市は4月から学校給食費を大幅値上げ!?

日本共産党



村上かずしげ

子どもの医療費助成よりひどいのは学校給食費です。白糠町は今年から給食費は完全無料、それなのに釧路市は・・・義務教育は無償のはずなのに、実際はかなりの父母負担があります。一番負担が重いのが給食費です。給食費が高い原因は、給食の食材費は保護者負担という考えがあつて、一般会計からの援助がないためです。

■釧路
一食単価 237円⇒ 248円
年間 45,504円⇒48,608円

■阿寒
一食単価 218円⇒ 228円
年間 41,420円⇒43,320円

■音別
一食単価 202円⇒ 214円
年間 39,794円⇒42,586円

いずれも小学校2年生の場合

子育て支援策は 他の市町村から大きく立ち遅れ

子どもの医療費助成は?

ほとんどの自治体では子どもの医療費は小学校入学まで無料です。さらに中卒まで、高卒まで無料の自治体もどんどん生まれています。それなのに、釧路市の無料化は原則3才のまま据置き、与党議員ですら「他の自治体と



比べ見劣りする」と厳しく批判しています。二月議会では共産党はもちろんのこと、与党からも「なぜ拡大しないのか」と厳しく追及され、最後には市長も30年度に拡大について検討すると答えざるを得なくなりました。

援して値上げを回避すべきと求めました。

学校給食センターはどうなる? 老朽化している学校給食センターの改築が検討されていますが、案のひとつに、「釧路市内に1か所のセンターを造って、そこから阿寒湖畔や音別まで給食を運ぶ」というとんでもない案があります。これでは「温かい給食」など望めません。村上議員は阿寒湖や音別は学校で調理する自校方式で、市内のセンターも小中に分けて少なくとも2か所など、具体的な提案をしています。



西部や山花・阿寒のバスは昭和イオンが終点?

釧路市内のバス路線の赤字が広がり、これでは将来維持することが難しいと言つて、バス路線の再編が検討されています。再編案が示されびつくり。「実現性が高い」との理由で、昭和線、新富士新野線、リフレ線、鶴野ニュータウン線、高専まりも線、阿寒線が釧路駅や市立病院まで行かず、昭和イオンを終点とし、昭和イオンで乗り換えることになりました。バスの利用が非常に不便になる心配があります。しかもこうした乗り換えの負担は52の路線のうち、わずかに18路線の一部の地域だけにし寄せられる結果になるのでは無いでしょうか。なお、乗り換え運賃やスマホで運行状況を確認できるシステムの構築なども検討されています。

